

「隣人祭り」とは、近隣住民が料理や飲み物を持ち寄って、食事や会話などを楽しむ小さなパーティーのことをいいます。発祥はフランスのパリで、とあるアパートで高齢者の孤独死が発生してしまったことをきっかけに、近隣住民が声をかけ合って開催された、地域の絆を強くするパーティーが始まりです。多くの人の共感を得たその活動は、世界へと広がりました。渋谷区でも、パリと同じ都心ならではの社会課題を解決するため、29年から6月の第1日曜日を"ふだん話す機会の少ない近隣の人ともっと顔見知りになる日「渋谷おとなりサンデーの日」"として実施しました。

渋谷おとなりサンデーを開催して

フランス・パリで、ご近所さんが集まって持ち寄りパーティーをするようになって、ご近所同士のあいさつが増えたそうです。気難しいと思っていた人が、本当は子どもが好きだとわかって、面倒を見てもらえるようになったといいます。このように、ご近所で解決できる社会課題はたくさんあると思います。今回、おとなりサンデーは区内約40か所もの会場で、地域の皆さんによって開催されました。想定していた以上の開催数で、皆さんがやりたいと思っていてくださったのかな、とうれしく思っています。これから、皆さんの共感と賛同をいただきながら、区としてもしっかり前に進めていきたいと思っています。



渋谷区長 長谷部 健



6月4日(日)区内約40か所で







谷おとなりサンデーが開催されました!

一 渋谷おとなりサンデーQ&A

Q.渋谷区に住んでいる人だけが参加できるの?

A.いいえ、渋谷の街に住む、働く、学ぶ、訪れる人、誰でも気軽に参加することができます。例えば、会社の近隣の人たちと新しく顔見知りになることで、万一の際にお互い協力し合える関係が生まれます。渋谷の街で活動する人であれば、渋谷おとなりサンデーをきっかけに新しい仲間を増やすことができるかもしれません。

Q.具体的にはどんなことをやればいいの?

A. ピクニックなどの持ち寄りパーティーでも、ワークショップでも、やりたいこと、得意なこと、誰もが自由に内容を決めることができます。気軽な気持ちで、 みんなで渋谷おとなりサンデーを一緒につくっていきましょう。

Q.渋谷おとなりサンデーは1年に1回だけなの?

▲. 渋谷おとなりサンデーの日として設定しているのは、6月の第1日曜日ですが、 その準備や開催後の交流も含めて渋谷おとなりサンデーの一環と考えています。 日頃から近隣での交流が活発になり、新たな交流が広がる場が増えていけばと考 えています。

Q.私たちも渋谷おとなりサンデーを実施したい!

▲ 29年6月4日の「渋谷おとなりサンデーの日」は終了しましたが、普段あまり顔を合わせることがない"おとなりさん"同士が話すことができる「渋谷おとなりサンデー」は、1年を通じて続けていきたいと考えています。これから渋谷おとなりサンデーを開催したいと考えている人は、地域振興課町会担当主査(☎3463-1649)まで問い合わせてください。



おとなりサンデーの紹介や、 問い合わせに対応しました。



これでいた。 とても有意義だと思いまた機会があったら参加 今日もとても楽しめま

持ち寄りパーティーなので、 多めに料理してきました。 子どもがいるので、防犯の面でも ご近所さんに顔見知りの人が 増えたら、何かと安心だなぁと 思っています。

ランチ企画

パラソルの下で楽しいランチタイムを楽しみました。 昔からの顔なじみの皆さんでも、場所が変わると話もはずみます。





トークセッション

キックオフイベントの会場となった渋谷キャスト(渋谷1-23-21)では、メインテーマである「渋谷おとなりサンデーから考える、渋谷の地域コミュニティーのこれから」について、長谷部健区長、コミュニティFM「渋谷のラジオ」理事長 箭内道彦氏、東京理科大学教授 伊藤香織氏が語り合いました。



長谷部 今、渋谷の景色は、自分が子どもの頃からもどんどん変わってきているけど、コミュニティーの絆はずっとちゃんと紡がれてきたと感じています。これをしっかり次の世代にも継承していくことは、成熟した国際都市としての大きな課題です。みんなが交わって、新しい文化ができる場をこれからも提案していきたいですね。そうした場があることでコミュニティーの絆が維持できて、より強固にすることができると感じています。これを忘れず今後も、どん

どんこうしたプロジェクトを推進していきたいと思っています。

箭内 「渋谷おとなりサンデー」をこれからどう定着させるのかが重要ですね。私は"おとなりさん"という言葉が、渋谷にあふれるように工夫をしていきたいと思います。参加しない人も、"おとなりさん"という言葉に触れるようになることで変わることができると思うんです。マンションの隣の部屋の人と一度も話したことがなくても、"おとなりさん"という言葉を意識していれば、災害などがあったとき、自然につながることができるんじゃないかなと。だか



ら、"おとなりさん"という言葉が広がること自体にも意味があるんじゃないかと思っています。



伊藤 当事者として自分が動くことで、少しでも街が変われば、街との関係が深まり、街が自分の誇りにもなるんじゃないでしょうか。それが、街に対する区民の誇りです。どんな形でも、自分でできること、得意なこと、好きなことをやってみるというのがいいのかなと思います。自分なりのやり方を模索していって、それが文化になっていけばなおさらいいなと思います。渋谷はたくさんの文化を生んできた街ですから。人と人が出会うと、新しい文化や生活スタ

イルが生まれる。「渋谷おとなりサンデー」には、そのゆりかごになってほしいですね。

参加した皆さんに聞きました



宮益町会会長 小林 幹育さん

地域の絆を強くするイベントに

渋谷は、もともと少し下町的な雰囲気があって、会えばあいさつをする関係性はあるんです。 災害や孤独死のことを考えると、おとなりさんとあいさつをする関係でいることが望ましいですが、単 身者が多いようなマンションはなかなかそうはいかないですよね。

あまり難しく考えることはないんです。ご近所だけだっていい。みんなの声かけがあれば全然違いますから。こういう取り組みは大賛成です。地域のお祭りとはちょっと違う、地域の絆を強くするイベントに育っていけばいいなと思います。

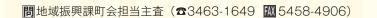
今まですれ違うだけだった人と会話するいい機会

自助、共助、公助といいますが、もっと大事なものは「近所」だと思っています。こういう催しは、今まで すれ違うだけだった人と初めて会話をするいい機会ですね。

災害などで避難生活をしなくてはいけないとき、それぞれの得意分野で、仕切りを超えて連携することが必要だなといつも思っています。そのために「人を知っている」ということはとても重要ですよね。今回、顔はわかるけど話したことがない人とも、あらためてゆっくり食事をして、会話をすることができました。地域のつながりを再確認できましたね。



美竹の丘コミュニティ委員会委員長 中富 光春さん



区内各所で開催されたおとなりサンデーの様子





3家族で参加しました! 長く住んでいる大好きな 地元で、たくさんの人と 話せて楽しかったです。



@代々木公園



ご近所さんとは 普段立ち話程度で、

なかったので、

いいきっかけに















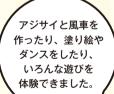






「サッポロ広場」の 芝生スペースを楽しもう @恵比寿ガーデンプレイス





「手芸&クラフト」

茶話会 @千駄ヶ谷





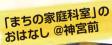














. こんな風に、いろんな 世代や職種の人と 話ができることは とても刺激になるので 楽しいと思います。

6月4日に開催された渋谷おとなりサンデーについて は、渋谷おとなりサンデーHPをご覧ください。



渋谷おとなりサンデーの定着に向けて

区では、これからも、地域の皆さんのコミュニティーの絆を、より強くするさま ざまな取り組みを進めていきます。渋谷おとなりサンデーは、その中心的な役割 を果たす取り組みです。区民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

間地域振興課町会担当主査(☎3463-1649 2 5458-4906)